学校番号	207

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ⅱ BC 充実	単位数	2 単位	年次	3 年次
使用教科書							
副教材等	「攻略！共通テスト Pick Up 数学Ⅰ＋A、Ⅱ＋B＋C」（東京書籍）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

（1）　数ⅡBC 充実を学ぶにあたって

・この授業では、これまでに学んだ知識を整理するとともに、大学入学共通テストにおける「数学Ⅱ、数学 B、数学 C」のための実践的な演習を行います。

・共通テストにおいては、数学的な問題解決の過程が重視され、目的に応じて図表やグラフなどを活用しながら、一定の手順に沿って数学的に処理する力が求められます。また、日常の事象や発展的な内容に対し、既知の知識や技能を活用しながら解決していく過程を大切にしましょう。

（2）　授業の受け方

・初めて見る問題や、今までより深い思考力・判断力・表現力を問われる問題に対応する経験を積むことを目的としています。そのため、１回１回の授業に真剣に取り組むことが、これらの力をつけるための近道です。

・疑問点を放置しないことが大切です。遠慮なく先生に質問しましょう。授業で聞き逃した部分、何回考えても分からない問題など、基本事項についてはすぐに解決することをお勧めします。授業中に積極的に質問することも大歓迎。授業中にわからないところを質問することは、自分だけでなく周りの理解にもつながります。

（3）　家庭学習

・基本的な公式や定理については、授業の前に確認しておきましょう。教科書の例題で問われる内容は簡単だと侮ってはいけません。なぜそのように考えるのか、思考の流れをしっかりと理解することが、発展的な内容に取り組むための土台となります。各単元のはじめに、教科書や参考書の該当箇所を読み返しておくとよいでしょう。

・苦手分野は早めに補強することが大切です。これまでに取り組んできた問題集や参考書を用いて、集中的にその分野の復習に取り組みましょう。何度も繰り返し取り組むことを心がけてください。そして、解答を見なくても自力ですべてが解けるようになることが大切です。

学校で用意された教科書・問題集・参考書をしっかり理解すれば受験にも十分対応できます。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】

2 年次までに学んだ事柄について、基本的概念や原理・法則についての理解を深め、基礎的な知識・技能を確立する。

【思考力、判断力、表現力等】

事象の数量等に着目して数学的な問題を見いだし、一定の手順に沿って数学的に処理することができる。

【学びに向かう力、人間性等】

数学の良さを認識し、数学を活用しようとする態度や創造性を発展させる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	これまでに学んだ事柄についての基本的な概念や原理・法則を体系的に再構築する。事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を確立する。	現実に起こる事象を数学化することに慣れる。長い文章や会話から数学的な内容を読み取り、目的に応じて数式や図・表・グラフを用いて処理する方法を身につける。問題解決の過程や結果を振り返り、得られた結果を意味づけたり活用したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深め、評価・改善したりしようとする態度を養う。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期		１．方程式・式と証明	a:複素数の四則計算ができる。解と係数の関係を理解している。 b: 整式の除法による余りを、剰余の定理や因数定理を用いて見通しよく処理できる。 c:相加平均と相乗平均の関係を用いて、最小値を求められることに関心をもつ。	定期考査 提出物 小テスト	定期考査 提出物 小テスト	提出物 観察 ワークシート
		２．図形と方程式	a:直線や円の方程式を理解している。軌跡の方程式を代数的に処理できる。 b:方程式や不等式で表された条件を、座標平面上に図示できる。 c:図形や領域を活用して、最大値や最小値を求められることに関心をもつ。	定期考査 提出物 小テスト	定期考査 提出物 小テスト	提出物 観察 ワークシート
		３．三角関数	a:三角関数に関する公式を理解している。 b:単位円を用いて三角関数の関係式を導くことができる。 c:合成を用いることで、複雑な三角関数の式を単純化しようとする。	定期考査 提出物 小テスト	定期考査 提出物 小テスト	提出物 観察 ワークシート

		4．指数関数・対数関数	a:指数や対数を含む基本的な計算が正確にできる。 b:グラフを用いて、指数や対数を含む式の値の大小関係を理解できる。 c:常用対数を用いて桁数や現実的な対象を考察しようとする。	定期考査 提出物 小テスト	定期考査 提出物 小テスト	提出物 観察 ワークシート
2学期		5．微分と積分	a:接線の方程式を求められる。曲線を図示し、積分を用いて面積を求めることができる。 b:微分係数や導関数の意味を理解している。様々な数量関係について、微分を用いて増減や最大・最小を考察できる。 c:煩雑な積分計算を簡略化し、見通しよく計算しようとする。	定期考査 提出物 小テスト	定期考査 提出物 小テスト	提出物 観察 ワークシート
		6．数列	a:数列に関する基本的な公式を理解し、正確に計算できる。 b:複雑な和を求めるために、適切な工夫を行うことができる。2項間の関係を、漸化式を用いて表現できる。 c:群数列の考えを活用し、様々な数列を考察しようとする。	定期考査 提出物 小テスト	定期考査 提出物 小テスト	提出物 観察 ワークシート
		7．統計的な推測	a: 確率変数の平均や分散を求めることができる。二項分布や正規分布について理解している。 b: 二項分布や標本平均の分布について、正規分布に近似して考察できる。 c: 具体的なデータに対し、数学化して分布の考察を行い、そのデータの持つ特徴を分析しようとする。	定期考査 提出物 小テスト	定期考査 提出物 小テスト	提出物 観察 ワークシート
		8．ベクトル	a: ベクトルに関する基本的な計算や処理を正確に行える。 b: 平面および空間における図形を図示し、その図形の持つ性質についてベクトルを用いて表現できる。 c: 図形と方程式や複素数平面など他の単元で学ぶこととの関係に関心を持つ。	定期考査 提出物 小テスト	定期考査 提出物 小テスト	提出物 観察 ワークシート

3 学 期		問題演習	a:これまでに学習した基本的な知識・技能を正確に活用できる。 b:具体的な問題設定から事象を数学化し、適切に処理できる。 c:数学が現実の事象に活用できることに関心を持つ。	提出物	提出物	提出物 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度